

令和3年9月14日

令和3年度 若手建設業関係者を対象とした道守補助員コースの募集案内

長崎大学大学院工学研究科
インフラ長寿命化センター
センター長 松田浩

日頃から、インフラ長寿命化センターの活動に当り大変お世話になっています。コロナ禍の制約の中での通常業務に加えて大雨に伴う災害対応、ご苦勞様です。

長崎大学大学院インフラ長寿命化センターでは道守養成講座を平成20年度に開始して、道路の点検・診断・アセットマネジメントができる専門技術者を養成するとともに、道路異常通報システムを整備しています。

道守養成講座を受講するためには、現場の経験や資格が必要で、経験が少ない若手が受講するには少し無理があります。一方、若い世代にインフラの維持管理に関心を持ってもらい、活動に参加してもらうことも不可欠です。

(一社)九州地域づくり協会の人材育成助成事業の支援を得て、令和元年度から3年間にわたって、長崎県内の建設業、建設コンサルタント業及び県や市町の若手土木技術者(35歳以下や就職数年の方)25人程度を対象に6時間の土木技術者向けの道守補助員コースを開催しています。前半の座学では、道路構造、コンクリート構造と鋼構造の劣化のメカニズム等の基礎を充実させたカリキュラムを使用します。さらに、後半の実習・演習では、インフラの点検や診断について経験豊富な道守認定者を講師として橋梁・舗装・道路付属施設を対象とした点検に関する現場実習と道路異常通報の演習を実施します。

また、これまでのように「1回限りの講座実施→後はボランティア活動に期待するシステム」では、活動に結び付かない課題があります。これを教訓に、本講座では道守認定者の道路清掃時に修了生にフォローアップ研修を実施するとともに、アンケート調査等を実施して、活動の定着の方策を立案することを計画しています。

この取り組みによって、意欲がある若手を育て、将来の道守補コース等の養成講座の受講に結び付けることに期待ができます。令和3年度には道守補助員コースを受講した6人が道守補コースに応募しています。

つきましては、貴職の若手の技術職員の皆様にご案内いただき、受講をお勧めいただくようお願いいたします。なお、開催にあたっては、長崎大学のコロナウィルス感染症対策を遵守して実施いたします。

〒852-8521 長崎市文教町1-14
長崎大学大学院工学研究科
インフラ長寿命化センター
TEL 095-819-2880
FAX 095-819-2879
Email michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

道守補助員募集要項

1.対象

35歳以下の建設業（施工業、建設コンサルタント業、県・市町）に従事する土木技術者もしくは建設業就業3年以内の土木技術者

2.募集定員

25人

3.受講料等

無料（九州地域づくり協会人材育成支援金を活用）、CPDS申請予定

4.実施日（延べ1.5日）

11月12日（金） 10時～17時 道守補助員コース

12月4日（土） 9時～12時 道路見守り活動、フォローアップ研修

5.会場

長崎大学、長崎市内の道路・橋梁

6.講師

座学 インフラ長寿命化センター兼務教職員、長崎県職員

点検実習 道守認定者、インフラ長寿命化センター兼務教職員

7.募集期間

9月21日（火）～10月15日（金）

8.申込み先

長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター道守事務局に FAX 又はメールでお送りください。

FAX 095-819-2879

Email michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

道守補助員コース 申込み用紙

年 月 日

ふりがな		生年月日	
氏 名		年齢	歳
所 属			
住 所	〒		
電話番号			
E-mail			
CPDS	要 ・ 不要		

※メールアドレスは職場のものでも個人のものでもかまいません。連絡が付きやすいものをお願いいたします。

※CPDS は、要 不要 のどちらかに○をしてください。